

# 人類学演習Ⅱ 談話会

日時:10月29日(金) 16:00~18:00

場所:総合研究博物館展示場前

<講演者>

諏訪 元 先生

(東京大学総合研究博物館)

<講演テーマ>

総合研究博物館の人類学展示

<要旨>

生物進化研究の醍醐味の一つとして、マクロレベルの進化史を挙げるができる。総合研究博物館では、ただいま常設展「キュラトリアル・グラフィティ」と、その中の特別臨時コーナーとして、アルディピテクス・ラミダスのミニ展示を行っている。「常設」展といっても企画的にしぼった内容のものであり、現在は人類先史標本の学史的紹介が中心となっている。ラミダス展は、研究成果発表の一貫としてのミニ展示であり、エチオピア国外で初めて440万年前の「アルディ」の化石骨(レプリカ)を期間限定で公開している。キュラトリアル展では、日本人のルーツの研究に魅せられた東大の先人たちの足跡と標本資料を垣間見ていただきたい。ラミダス展では、部分骨格標本「アルディ」(主要四肢骨、手足、骨盤、つぶれた頭骨などが保存されている)の研究用レプリカ、マイクロCT解析による復元頭骨、解説パネルなどが用意されている。今回の「講演」では「キュラトリアル」展の解説を簡単に行ったあと、公開セミナーの一環として、頭骨復原について紹介し、ラミダスに関して対話型の応答をする。

今後の予定

11月5日 田嶋先生

担当:木花 牧雄(植田研)